

## AirPodsケース

### 背景にパターンが入るときのデータ作成方法

例)



背景にパターンが入るときは、

テンプレートのグレー部分を満たすサイズのイメージが必要です。

- 1：テンプレートのグレー部分ぴったりのサイズのイメージを準備します。  
グレーの長方形でクリッピングマスクをとってください。(①)
- 2：AirPodsケースのテンプレート各パーツ形状部分(4パーツ)を  
ご希望の位置に配置し、クリッピングマスクをとって完成イメージを  
作成します。(②～⑤)

上記の画像のように各パーツ位置を自由に移動させて作業して  
いただいて 構いません。※各パーツ形状の反転はしないでください。

※テンプレート上にあるケースの形状は、正面から見える部分になります。  
側面や上下のカーブ部分は「①」のイメージのケース形状よりはみ出た部分  
が印刷されます。

※昇華転写印刷の為、多少のズレが出る場合もあります事予めご了承ください。

※本体とフタの部分のつながりは、概ね合わせやすい傾向にございますが、  
多少の誤差が出る場合もあります。

※前・後のパーツが繋がる部分(左右上下の側面)は、ケース形状がカーブ  
の強い部分である為、デザインイメージをきれいに繋げる事はできません。  
予めご了承ください。

最終的に作成いただきたいデータがこちらです。

(デザインが見えやすいように、「テンプレート」レイヤーを非表示にしてあります。入稿時はテンプレートレイヤーを非表示にする必要はございません。)

説明用に番号をふってあります。



①

②



③



④



⑤

合計5つ(①～⑤)のデータが必要です。